



土浦の花火100周年記念

土浦全国花火競技大会



11月1日 **土**

午後5時30分から 荒天時は8日(土)に延期

[場所]桜川畔(学園大橋付近)

全国から最高の花火が集結！

土浦の花火大会の特徴は、世界最高水準の技術を誇る日本の花火師が一堂に会し、土浦のために特別仕様で作られた火と音の芸術を競い合う競技大会というところにあります。

大会には、北海道から九州まで、全国各地から煙火業者が参加し、多種多様な花火や変化に富んだ打ち上げ方を見ることができますので、観客の皆さんを飽きさせない構成となっています。

3つの部門で頂点を競う！

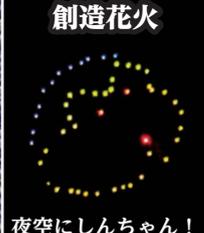
競技は、「スターメイン」・「10号玉」・「創造花火」の3部門で行われ、それぞれに権威ある賞が授与されますが、特に3部門の優勝者の中から最も優れた出品者には内閣総理大臣賞が授与されることから、名実ともに日本最高峰の花火競技大会です。

晩秋の澄んだ夜空に繰り広げられる、日本最高峰の花火師による頂上決戦を心ゆくまでご堪能ください！

ワイドスターメインは必見！

競技花火とは別に、大会の中盤に大会提供のワイドスターメイン「土浦花火づくし」が打ち上げられます。打上幅約500m、9箇所から2000発以上の花火が打ち上げられる豪華なプログラムですので、こちらも楽しみに！

前回優勝作品

スターメイン	10号玉	創造花火
		
風神雷神 (有)菊屋小幡花火店	昇曲付 五重芯銀点滅 (株)山崎煙火製造所	夜空にしんちゃん！ オラは人気者 (株)北日本花火興業

日本屈指の花火競技大会「土浦の花火」100年のあゆみ

- 大正14年 神龍寺の秋元梅峯住職が私財を投じて始める
 霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰霊と関東大震災後の復興への願いが「土浦の花火」の原点！
 秋に開催したのは、収穫を祝い、農民の労をねぎらうためでもありました。
- 昭和16年 第二次世界大戦のため中止(昭和20年まで)
- 昭和21年 終戦の翌年にいち早く再開
- 昭和36年 通商産業大臣(経済産業大臣)賞が付与される
 昭和37年~46年の大会は「輸出振興全国花火競技大会」として開催。
 国が花火の輸出を推進していた当時の世相を反映しています。
- 平成12年 内閣総理大臣賞が付与される
 内閣総理大臣賞が付与される競技花火大会は、全国で土浦と大曲の2か所だけ！
 市制施行60周年を記念し、ワイドスターメイン「土浦花火づくし」を披露
 1回限りの予定でしたが、反響が大きかったため、継続して実施されることに。
- 平成13年 全国の花火大会主催者が集う第1回全国花火サミットを土浦で開催
- 令和7年 「土浦の花火」100周年 これからも「花火のまち土浦」は進化を続けます！



内閣総理大臣賞杯▲

「土浦の花火」は100周年！



100周年記念特別インタビュー 花火師が語る「土浦の花火」

この方に聞きました

野村花火工業 野村 陽一 社長
…明治8年に水戸市で創業した野村
花火工業を率いる四代目社長。
内閣総理大臣賞受賞歴
土浦全国花火競技大会…12回
全国花火競技大会大曲の花火…10回



土浦全国花火競技大会は花火師にとってどのような大会ですか？

土浦の花火大会は、内閣総理大臣賞という国内で最も権威のある賞が授与されていることから、全国の花火師たちが目標にしている大会です。

その年の花火シーズンを締めくくる大会ということもあり、各社が夏の花火大会で打ち上げた花火にさらに磨きをかけて臨んでくるため、まさに真剣勝負の場となっていて、そのなかで良い成績を収めるためには、たゆまぬ努力が必要です。**土浦全国花火競技大会は歴史の長い大会ですが、花火師から見た昔と今の違いを教えてください**

土浦の花火大会には、半世紀ほど関わっていますが、昔と今では大きく違います。

例えば、以前の花火は手動で点火していましたが、今では電気点火となり、より安全に打ち上げられるようになりました。また、スターメインでは玉数の制限がなく、物量で競い合っていました。が、上限を設けることで、量ではなく一発一発の質が問われるように変化し、各社の技術が飛躍的に向上しました。さらに、音楽に合わせる工夫も重要になりました。

今大会への意気込みを聞かせてください

多数の賞を受賞していますが、まだまだ満足しておりませんので、さらなる高みを目指します。

今大会は、100周年という記念すべき大会でもあることから、これまで以上に社員一丸となって多くの皆さんに夢と感動を与えられるよう、真心を込めた作品をお見せしたいと思います。

100周年記念読者プレゼント



抽選で野村花火工業野村陽一社長サイン入り「土浦の花火」グッズをプレゼント！

①キャップ…5名様

②トートバッグ(色は選べません)…5名様

応募方法 右のQRコードから

またはハガキに希望商品、氏名、住所、電話番号を記入して郵送



郵送先 〒300-8686 土浦市大和町9-1

土浦市役所広報広聴課花火プレゼント係

応募締切 10月20日(月)(必着)

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。(賞品の発送は10月下旬予定)

※お送りいただいた個人情報は、賞品の発送以外の目的に使用しません。

記念行事

市民花火鑑賞講座

土浦の花火100年の歴史を知るとともに、今年の花火競技大会の見方や楽しみ方をわかりやすく解説します。

日時 10月25日(土) 午後1時30分～3時

場所 土浦市民ギャラリー

定員 50人(先着順、当日会場で受け付け)

Part 1

「花火鑑賞士が伝える土浦の花火100年」

小泉 裕司さん(花火鑑賞士)

Part 2

「Dr.Hotoの土浦の花火2025の楽しみ方」

穂戸田 勇一さん(県立中央病院医師)

土浦花火大使



「土浦の花火」をご覧ください！

漆間 虹美さん、宮田 優衣花さん、瀧 恭平さん、野村 真衣子さん、小村 悦子さん